

【第2号議案】

平成28年度事業

〈概要〉

平成28（2016）年は會津八一没後60年。節目の本年度は、八一の業績を今一度さまざまな視点から検証し、広い世代に興味関心を抱かせるような企画を展開していきたい。

夏の特別展は、八一と同時代に活躍した偉大なる素人陶芸家・川喜田半泥子との2人展を、当館と石水博物館（三重県津市）の所蔵品の交換展として開く。八一は知人から半泥子作の茶碗をもらったところ、その茶碗を気に入り、自らの書との交換で茶碗を求めた。半泥子も、八一に書画の揮毫を依頼、以来二人は一度も相まみえることなく、生涯に76通の往復書簡のみの交流を続けた。展覧会は、石水博物館所蔵の八一の書画作品（半泥子旧蔵）や二人の往復書簡をはじめ、八一と半泥子のそれぞれの油絵、俳画、墨蹟、さらには半泥子作陶の焼き物作品、川喜田家旧蔵美術コレクションなどを、隣接のいがた文化の記憶館フロアも借用して展示する。

春の企画展では、新潟を詠んだ俳句、短歌を中心に、八一の故郷への想いを紹介する。秋はヴェネチア国際映画祭、カンヌ国際映画祭で複数の賞を受賞した世界的映画監督で八一の愛弟子・小林正樹（1916～1996）生誕100年、没後20年に合わせて企画展を開催。松竹、世田谷文学館などと連携を取って実施する。

冬の企画展は紙以外に刻まれた八一の書（木額、歌碑、銅版、木製活字）などを紹介しその美意識を探る。併せて第10回写真コンテスト入賞入選作品展を同時に展示する。

普及活動では、①書籍「會津八一のいしぶみ」改訂版②マンガによる「八一の生涯」（新潟市の漫画家・高橋郁丸氏に依頼済み）の出版化③八一往復書簡集「雁魚来往」（小林正樹、小川晴暘、土門拳、入江泰吉、三浦寅吉）第4集の刊行④写真コンテスト全国巡回展の実施⑤京都・奈良との交流会の定期化（28年2月に第1回を実施済）⑥京都で初の八一歌碑建立運動などを企画。当館が新潟市の文化的観光拠点として、より充実した事業を全国に発信し取り組んでいきたい。

また、新潟高校の入学試験に會津八一の文章が採用されたことから、中学、高校への働きかけを増やし、修学旅行での奈良・會津八一の歌碑めぐりが一層拡大するように図りたい。

〈事業計画の内容〉

(ア) 展覧会事業 開館日数 273日

分類	展覧会名(仮称)	会期	内容
1 企画展	會津八一没後60年記念 會津八一 ふるさとを詠(うた)う	4月5日(火) ～7月3日(日) 78日間	新潟を詠んだ俳句、短歌を中心に、八一の故郷への想いを紹介。また、これまで知られていなかった短歌「川開き」の歌書を初公開する。新潟まつりの前身の花火大会を詠んだ一首で、昭和4年刊行の『版畫之新潟』に添えられた新発見資料。
2 特別展	會津八一没後60年記念 「～究極の趣味人～ 會津八一と川喜田半泥子」	7月15日(金) ～9月25日(日) 64日間	当記念館と石水博物館(三重県津市)で、所蔵品を交換展示する。本展では、石水博物館所蔵の八一の書画作品(半泥子旧蔵)や二人の往復書簡をはじめ、八一と半泥子のそれぞれの油絵、俳画、墨蹟、さらには半泥子作陶の焼き物作品、川喜田家旧蔵美術コレクションなどを展示。芸術の世界に遊んだ二人の独創性豊かな感性を紹介
3 企画展	小林正樹生誕100年・没後20年 會津八一没後60年 小林正樹と會津八一	10月7日(金) ～12月11日(日) 57日間	ヴェネチア国際映画祭、カンヌ国際映画祭で複数の賞を受賞した世界的映画監督・小林正樹(1916～1996)。小林は早稲田大学文学部で八一の指導を受けている。本展では小林正樹旧蔵作品、書簡などで二人の交流と学芸を紹介する。
4 企画展	會津八一没後60年記念 刻字の世界 ～板・銅版・焼き物に刻まれた八一の文字・歌～	12月23日(金祝) ～平成29年 3月26日(日) 74日間	八一は終生、自らの文字を刻字化することにこだわりを持っていた。紙以外に刻まれた八一の書(木額、歌碑、銅版、木製活字)などを紹介し、その美意識を探る。併せて第10回写真コンテスト入賞入選作品展を同時に展示する。

展示替え、研修のための休館日	7/4～7/14	11日間
	9/26～10/6	11日間
	12/12～22	11日間
作品解説会	常設展・企画展	期間中 月2回(第2、4日曜日) 午前11時
	特別展	期間中 毎週土曜、日曜日 午前11時

(イ) イベント ※交渉予定も含む

<講演会>

八一祭記念文芸講演会 講師：千 宗屋氏 (武者小路千家15代次期家元)
演題：「川喜田半泥子と茶の湯」(仮題)
日時：平成28年8月2日(火) 午後2時～3時半
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：250名

特別展記念文芸講演会 講師・演題：龍泉寺由佳氏(石水博物館主任学芸員)「川喜田半泥子の人と芸術について」
喜嶋奈津代(新潟市會津八一記念館主査学芸員)「會津八一と川喜田半泥子」
日時：平成28年9月9日(金) 午後2時～
会場：メディアシップ6階 ナレッジルーム
定員：90名

文芸講演会① 講師：高野公彦氏(歌人、「コスモス」編集人、新潟日報歌壇選者)
演題：「新潟の風土と短歌」
日時：平成28年4月21日(木) 午後2時～
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：250名

文芸講演会② 講師：蒲原宏氏(俳人、「雪」主宰)
演題：「記憶の中の會津八一先生」
日時：平成28年5月26日(木) 午後2時～
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：250名

文芸講演会③ 講師：名和 修氏(陽明文庫理事 文庫長) 交渉予定
演題：「陽明文庫について」(仮称)
日時：平成29年2月または3月
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：250名

(ウ)「會津八一のいしぶみ」改訂版およびマンガによる「八一の生涯」の出版化

<會津八一のいしぶみ>

全国にある會津八一歌碑49基と揮毫碑18基について、マップと概要を掲載。
また、平成12年以降に建立した石碑についてのコラムや、新潟、奈良、その他の県と八一との関わりについても紹介する。

<マンガによる「八一の生涯」>

漫画家・高橋郁丸氏による八一の生涯を描く。

(エ)八一往復書簡集「雁魚来往」第4集の刊行

映画監督・小林正樹、写真家・小川晴暘、土門拳、入江泰吉、三浦寅吉らと會津八一との往復書簡の読み下し文、註釈、関連資料図版を掲載。

(オ)「會津八一の歌を映す」第10回秋艸道人賞写真コンテスト

公募ポスターと応募要項の制作と発送(平成28年4月中)

- ① 審査・結果発表(平成28年12月上旬)
- ② 表彰式：平成29年1月下旬または2月

(カ) 新潟・京都・奈良定期交流会

日時：平成28年8月下旬

会場：未定

内容：未定

(キ) 京都初の八一歌碑建立 運動

京都・東寺について京都仏教会から打診があり、今後詰め協議をする。

(ク) 学習講座 (会費で充当)

會津八一の歌を読む会 「かまづかの会」

講師：若月忠信氏 (文芸評論家)

日時：毎月第1土曜日 午後1時30分～3時

会場：砂丘館

(ケ) 鑑定会 春秋2回を予定

春の部

日時：平成28年6月5日(日) 午後1時～3時

会場：會津八一記念館

秋の部

日時は未定

(コ) 旅行企画 (参加者負担)

會津八一の足跡を訪ねる旅を計画

日時：4月17日～19日

行く先：京都、奈良

(サ) アウトリーチ活動

- ・4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館などに働きかけ案内を送り、依頼のあるところから実施

(シ) 他団体との関連イベント

○「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展

・早稲田大學會津八一記念博物館

平成28年4月1日～23日

・いかるがホール (奈良県斑鳩町)

6月2日～10日

・奈良県立図書情報館

5月17日～29日

・胎内市中央公民館(會津八一記念事業実行委員会主催)

秋(11月予定)

・中村屋サロン美術館

7月30日～9月4日頃

・京都 (交渉中)

未定

○古町・浅川園ギャラリー主催 會津八一作品(複製)展示

平成28年4月以降 4～5点を貸出予定

○石水博物館主催 會津八一記念館所蔵品交換展「會津八一と川喜田半泥子—独往と無茶の交流—」

平成28年10月7日(金)～12月4日(日) 會津八一記念館所蔵品を貸出予定

○徳島県立文学書道館主催「あふれる詩情 會津八一展」

平成29年2月16日(木)～3月20日(月・祝) 會津八一記念館所蔵品を貸出予定

(参考) 月別行事一覧

月	イベント名	内容
3月	○予算役員会	日時：3月29日(火) メディアシップ 18階
4月	○企画展「會津八一 ふるさとを詠う」展開始	期間：4月5日(火)～7月3日(日)
	○「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展	会期：4月1日(金)～23日(土) 会場：早稲田大学會津八一記念博物館
	○文芸講演会	日時：平成28年4月21日(木) 会場：メディアシップ 日報ホール 講師：高野公彦氏(歌人、新潟日報短歌欄選者) 演題：「新潟の風土と短歌」(仮称)
5月6月	○鑑定会	日時：6月5日(日)
	○決算役員会(理事会)	日時：5月10日(火) 会場：メディアシップ
	○決算役員会(評議員会)	日時：5月27日(金) 会場：メディアシップ
	○「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展	会期：5月17日(火)～29日(日) 会場：奈良県立図書情報館
	○文芸講演会	日時：平成28年5月26日(木) 会場：未定メディアシップ 日報ホール 講師：蒲原宏氏(俳人、俳句雑誌「雪」主宰) 演題：「記憶の中の會津八一先生」
	○「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展	会期：6月2日(木)～10日(金) 会場：いかるがホール
7月	○特別展「～究極の趣味人～會津八一と川喜田半泥子」展開場式	日時：7月14日(木)午後3時～ 会場：日報ホール
	○特別展「～究極の趣味人～會津八一と川喜田半泥子」展開始	会期：7月15日(金)～9月25日(日) 会場：會津八一記念館 にいがた文化の記憶館
	○「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展	会期：7月30日～9月4日(日)頃 会場：中村屋サロン美術館(交渉中)
8月	○八一祭	日時：8月2日(火)午後2時～ 会場：日報ホール 講師：千宗屋氏(武者小路千家15代次期家元) 演題：「川喜田半泥子と茶の湯」(仮称)
9月	○特別展記念講演会	日時：9月9日(金)午後2時～ 会場：メディアシップ 6階 ナレッジルーム 講師：龍泉寺由佳氏(石水博物館主任学芸員) 喜嶋奈津代(會津八一記念館主査学芸員) 演題：「川喜田半泥子の人と芸術について」 「會津八一と川喜田半泥子」
10月	○企画展「小林正樹と會津八一」展開始	会期：10月7日(金)～12月11日(日) 会場：會津八一記念館
	○石水博物館主催 會津八一記念館所蔵品交換展「會津八一と川喜田半泥子—独往と無茶の交流—」	会期：10月7日(金)～12月4日(日) 会場：石水博物館
	○鑑定会	日時：未定 会場：會津八一記念館
11月	○「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展	会期：11月上旬 会場：胎内市産業文化会館
	○第10回写真コンテスト締切	締め切り：11月中旬
12月	○写真コンテスト審査会	12月上旬

	○企画展「刻字の世界」開始 第10回写真コンテスト入賞入選作品展	会期：12月23日（金祝）～平成29年3月26日（日）
平成 29年 1～3 月	○写真コンテスト作品表彰式・公開講評会	6 日：1月下旬または2月 会場：未定
	○文芸講演会	日時：2月または3月 会場：日報ホール 講師：名和修氏（陽明文庫理事 文庫長）交渉予定 演題：「陽明文庫について」（仮称）
	○徳島県立文学書道館主催「あふれる詩情 會津八一展」	会期：平成29年2月16日（木）～3月20日（月・祝） 会場：徳島県立文学書道館